



松柏中学校アーカイブ通信 第34号 2025年1月27日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

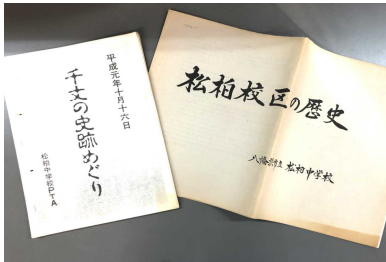
「少年の日」記念行事の歩み

2月3日(月)、2年生は「少年の日」記念行事として、大洲市野田側から千賀居トンネルを経て、川之内、上郷とつないで松柏中を目指す「旧県道大洲八幡浜線」(明治40年=1907年開通)12.4km踏破に挑戦します。このコースを歩くのは2021年度(写真右)に続いて2回目です。



1965年(昭和40年)、愛媛県内251の全公立中学校で始まった「少年式」ですが、記念行事はいつ頃から始まり、どのような内容で推移していったのか、松柏中や市内の他校の資料を分析して紹介します。

大人への一歩、「自覚」「立志」「健康」のスローガンと結び付け、記念行事=困難なことに挑戦するというのがいつ頃から始まったのかは不明です。県内でも地域性や少年式以前から続く学校独自の学校行事になっていたものなどがあり、はっきりしません。八幡浜市の中学校の場合、長距離を歩くというのはいつ頃始まったのか、この点も資料を見付けることができませんでした。20年以上昔ですが、八高の校長を務められていた今泉昌博氏から「中学校が長距離を歩くようになったのは、八高が『ミッドナイト・ウォーク』を行うようになってからだ。」と聞かされたことがあります。長距離の「行軍」行事は、伝統ある中・高では全国的に見られるので、このあたりは検証が必要です。(例として、小説や映画になった恩田陸の「夜のピクニック」は水戸第一高の伝統行事です。)



1966年～1988年頃 【記念植樹・マラソン・主張大会】

話を松中に戻します。1965年から始まった少年式ですが、翌1966年に記念植樹を行ったという記録があります。1967年が記念マラソンです。また、以前は12月に行っていた校内弁論大会を「少年の主張大会」と変えて、少年式後に行うようになりました。2年生だけでなく、各学年から代表者が登壇しています。

1989年以降 【記念ウォークが市内で登場】

【校区を歩いたときの資料】

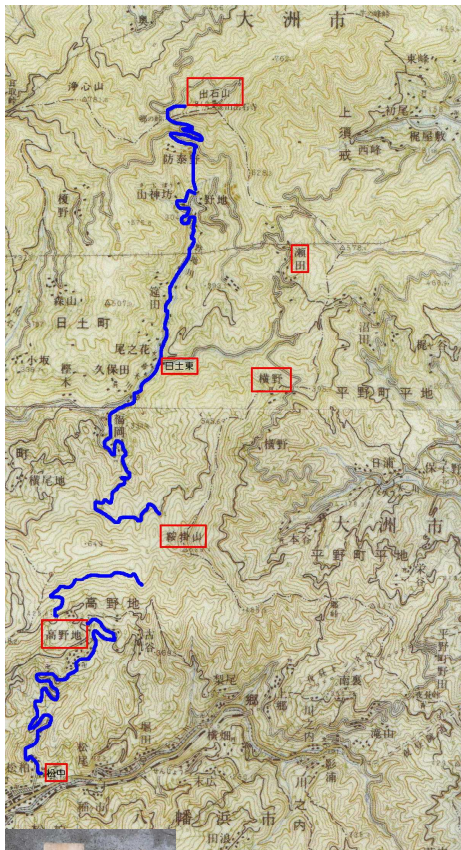
ポイントとしたのは1989年(平成元年)です。この年、八代中が出石寺登山を行っています。地元新聞の記事からです。市内の中学校では「ウォーク」の最初ではないでしょうか。この年、愛宕中は餅つきを行い、松柏中は記録がありません。地元・青石中の出石寺登山は1992年がスタートです。このあたりを整理してみます。

1989年	八代中が出石山開始	愛宕中が餅つき	松柏中が記録なし	青石中が記録なし
↓	↓	↓	(この頃主張)	↓
1992年	八代中が双岩往復	愛宕中が出石山開始	↓	青石中出石山開始
↓	↓	↓	(誓い発表)	↓
1993年	↓	↓	↓	出石山
↓	↓	↓	天ぷらづくり体験	↓
1994年	↓	↓	↓	出石山
↓	↓	↓	↓	↓
1995年	八代中が出石寺	愛宕中は卒業生講演会	記録なし	青石中がメロディーライン

ちなみにこの頃、真穴中、双岩中、大島中は餅つきなどを行っています。いかかですか、この頃、出石山登山が始まり、1995年以降にメロディーラインウォークも登場してきます。青石中はその後、メロディーラインと出石山が数年ごとに入れ替わっています。

肝心の松柏中学校ですが、1995年まで、「歩いた」という記録を見付けることができませんでした。1994年は、PTA会長の平岡孝さん(丸栄かまぼこ)が講師を務める形で天ぷら作り教室を行っています。また、「主張」や「誓い発表」とあるのは、少年式の中での2年生の誓い発表なのか、以前から続けていた主張大会なのか不明です。そして気になる資料があります。(写真左上)

「平成元年（1989年）10月16日 千丈の史跡めぐり 松柏中学校PTA」と表題の付いた冊子です。山村の松柏中赴任は1996年ですが、社会科の前任者が作成したものです。前任者が1988年に愛宕中から松柏中に異動となり、少年式記念行事で「松柏中～川之内～千賀居トンネル～平野を歩き、バスで帰る」案を提案して採用されたこと、山村との引き継ぎの際に聞かされました。1988年度であれば1989年2月の少年式になりますが、このコースで歩いたという記録がありません。1989年だけ松柏中はウォークを、しかも校区を歩いたのでしょくか。それとも前任者は、このパンフレットにあるように、PTA行事と勘違いされていたのでしょくか、謎です。



1997年～【鞍掛山越え出石山コース】

1996年3月に松柏中は出石山コースを歩きました。新聞記事にも残っています。当時、初めて行くコースだとは言っていなかったと山村は記憶しています。とすると、前年の1995年が松柏中のウォーク開始でしょくか。このときの出石山までのコースは他校も行っていた基本コースです。愛宕トンネル～名坂トンネル～喜須来～日土～日土東ととどります。

1997年、2年部が挑戦し、開拓しました！

1996年度、松柏中は「頑張ろうや松中」を生徒会スローガンに掲げ、勢いを付けようとした1年間でした。人権サークル「プロGRESS」や応援団も生まれました。

そして迎えた3学期、1997年でした。「少年式記念行事も新しいことに挑戦しよう！」と切り出したのは2年主任の高田宗典先生でした。「松中から日土東なら、近道があるんよ。高野地と福岡の境に鞍掛山というのがあるんやが、日土地区の人は昔、この山を越えて旧市内に来て映画を観て、また同じ道を帰っていったんよ。」「大丈夫、使われなくなってしばらくたつけど、俺が八高の登山部やったとき、このルートで練習したんよ。覚えとる！」

1月末、ルートを「切り拓く」ため、標識とハンマー、枝切りハサミなどを担いで、校長、高田主任（2-1）、山村（2-2）の3人が高野地方面から山の中に入りました。地図が細かくて分かりにくいのですが、高野地の道路の行き止まりから左に、山の中に入りました。地図中にも道は記されていません。約2時間の格闘の末、福岡に抜け、ルートは確定しました。

1月26日（日）、本番前にもう一度ルートを確認することになり、高田主任が日土東公民館から、山村が高野地からそれぞれ山に入り、山中で会おうということになりました。携帯電話のなかった時代です。ところが山に入った途端、猛吹雪になり、一瞬にして辺りは真っ白の銀世界になりました。1時間以上さまよいました。ビュービューと吹雪く音、目の前が薄暗くなってきました。すると、ずっと向こうから「山ちゃん」の声が聞こえてきました。高田主任でした。2人は抱き合い、涙を流しました。今でも当時の生徒や保護者から「先生、山の中で遭難しかけたよなあ。」と言われます。このとき立てた標識が農具室に残っていました。（写真左）

2月10日、記念行事はポカポカ陽気の中で楽しく実施できました。（写真右）肝心の鞍掛山ショートカットのはずが、立てた標識を見付けることができず、山から出た場所は福岡ではなく、大洲市平野の横野でした。大きく東にそれてしまいました。このコースは以後数年間利用したようですが、道が危ない、イノシシ出没する危険がある等の理由で、日土経由の通常コースに戻りました。



2022年～【ふるさとウォーク】

2012年からコースはメロディーラインとなり、40kmの道のりを2年生は頑張って歩くようになりました。そして2022年、コロナ禍で少年式を改めて縮小し、記念ウォークも校区内を歩くコースに変更しました。名付けて「ふるさとウォーク」です。2022年が最初に紹介した夜昼峠越えです。そして2023年と2024年には、高野地に登り、集会所で世界一に輝いたマーマレードをいただくというプログラムを取り入れました。高野地地区から望む宇和海は志を立てるのに最高の場所でした。そして今回、最後のウォークは、同じく志を立てるのにはピッタリの千賀居トンネルと夜昼峠を目指します。題して「夜昼峠を越えて」です。